

海外邦人安全対策情報（2019年4月～6月） （カンタベリー地域）

1 ニュージーランド(NZ)国内全体の治安情勢

（1）テロ関係

2019年3月15日、クライストチャーチに所在する2か所のモスクで銃の乱射事件が発生し、51人が死亡、数十人が負傷しました。実行犯として逮捕されたオーストラリア国籍の男は、白人至上主義を主張する過激思想の持ち主で、逮捕時に半自動小銃等5丁の銃器を所持していました。事件後、NZ政府は銃規制を強化するなどテロ防止に向けた対策を推進していますが、国内には依然として多くの猟銃等が流通しており、引き続き、テロに対する警戒が必要です。

（2）一般治安関係

NZでは、強盗や侵入窃盗、車上狙いや繁華街での暴行事件が多く発生しているため、防犯対策には十分な注意が必要です。また、犯罪組織メンバー（いわゆるギャング）同士の抗争もしばしば勃発しており、これらに巻き込まれることのないよう、繁華街等では特に注意してください。このほか、NZ国内ではメタンフェタミン等の薬物犯罪が社会問題化していますので、留意してください。

2 カンタベリー地域の治安情勢

（1）一般治安関係

良識ある行動をしている限り凶悪事件に巻き込まれる可能性は低いですが、例えば夜間における窃盗・空き巣狙い等の被害（在留邦人を含む）、飲酒運転による事故被害、飲酒を伴うバーにおける暴力事案及び深夜路上での外国人等に対する暴行事件は度々発生しているので、注意が必要です。また、車の運転に不慣れな外国人旅行者による死亡事故もしばしば発生しています（特に対向車線はみ出し等による事故が多い）ので、観光シーズンは特に注意が必要です。

車上狙いが多く発生しているので車の駐車の際は、内部に荷物を置かず、かつ、あまり人通りのないところに駐車しないことなどに留意してください。

住居においては、防犯ベルを設置するなどの自衛手段を講じるとともに、日頃より隣人との交流を図る等により、平素から安全対策を心掛けることが必要です。

個人旅行者を相手にした詐欺まがいの事件が発生していますので、ツアー等を申し込む際は信頼できる会社かどうかをよく確認することが重要です。

クライストチャーチ市内のガソリンスタンドやコンビニエンス・ストア等では、タバコや現金を狙った強盗事件が多発していますのでご注意ください。

(2) 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

ア NZ警察が発表した2018年6月～2019年5月のカンタベリー地域の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪発生件数は13,282件と前年同期と比較して0.6%の減少となっています。主な犯罪種別の内訳は以下のとおりです。

殺人関連	27件（前期比	50.0%増加）
傷害関連	1,715件（同	3.4%減少）
性犯罪関連	167件（同	10.2%減少）
強盗関連	79件（同	30.7%減少）
空き巣関連	453件（同	13.0%増加）
窃盗関連	1,761件（同	8.2%増加）

イ 最近の殺人・強盗等凶悪犯罪の事案

(ア) 5月2日（木）午後4時10分頃、クライストチャーチ市内リカトン地区のコンビニエンス・ストアに男が押し入り、ナイフで店員を脅しつつ現金を強奪して逃走。

(イ) 5月14日（火）午後9時頃、クライストチャーチ市内ウールストン地区のガソリンスタンドに、銃を持った男が押し入り、現金を強奪して逃走したが、犯人は逮捕。

(ウ) 6月5日（水）午後6時50分頃、クライストチャーチ市内フェンダルトン地区のコンビニエンス・ストアに男が押し入り、現金を強奪して逃走。

(エ) 6月9日（日）午後9時45分頃、クライストチャーチ市内ブリンドア地区のバーに、2名の男が押し入ったが、何も盗らずに逃走。その後、午後10時頃スプレイドン地区のバーにバットとナイフを所持した2名の男が押し入り、レジから現金を強奪。また、同日午後10時30分頃、クライストチャーチ空港近くのケンタッキー・フライドチキン店にも男が押し入り、レジから現金を強奪。

(3) テロ・爆弾事件発生状況

3月15日（金）午後1時45分から午後2時15分にかけて、クライストチャーチ市内の2か所のモスク内外で男が銃を乱射し、多数の死傷者が出ました。犯人は逮捕されましたが、NZ警察は依然としてテロ警戒態勢を強化していますので、不測の事態に巻き込まれないよう次の対応に努めるようにしてください。

ア 最新の関連情報の入手に努める。

イ 次の場所がテロの標的になりやすいことを十分認識する。

モスク及び教会等の宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設（特に軍、警察、治安関係施設）、観光施設や観光地周辺の道路、コンサートや記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等の人が多く集まる場所。

ウ 上記イの場所を訪れる際には、常に周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、あるいは、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

エ 現地当局の指示があればそれに従う。特に銃撃、爆弾等の事案に遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き、具体的には以下のとおり冷静に行動するように努める。

(ア) 頑丈なものの陰に隠れる。

(イ) 周囲を確認し、可能であれば銃撃音等から離れるよう、速やかに、低い姿勢を保ちつつ安全なところに退避する。閉鎖空間の場合、出入口に殺到すると将棋倒しなどの二次被害に遭うこともあり、注意が必要。

(4) 誘拐・脅迫事件発生状況

警察当局の発表によれば、2018年6月～2019年5月までのカンタベリー地域で発生した誘拐・脅迫事件は412件（前年同期比10.2%増加）です。

(5) 日本企業の安全に関わる諸問題

特に認知されていません。

※ ニュージーランドの治安情勢全般については、在ニュージーランド大使館及び在オークランド総領事館の海外安全対策情報も御参照ください。

(了)